

会 議 録

会議名	第4回 宇都宮市環境基本計画ワーキングチーム会議					
開催日時	平成14年 3月26日(火) 午後7時00分～午後9時00分					
開催場所	宇都宮市役所 14D会議室					
出席者	ワーキングチームメンバー					
	小磯 順子	欠席	葛谷 理子		眞野 潤子	
	大野 邦雄		森本 久子		仁平 隆史	
	高沼 恭一	欠席	手塚 賢次	欠席	三宅 徹治	
	平野 正人		斉藤 軍夫		児玉 博利	欠席
	林 常夫	欠席	江川 靖		村上 孝子	欠席
	事務局(福田環境課長, 他5名)					
公開・非公開	公開					
傍聴者	0名					
議 題	環境項目, 環境課題に係る意見の整理について					

発言者	内 容
三宅リーダー	<p>前回の盛りだくさんの意見を事務局の方で整理して頂きました。 第2回の資料とイメージ的には合っているかと思いますが、環境項目によっては、空白のページもあります。 今日は整理された内容について、前半の1時間はメンバー同士でフリーにディスカッションしたいと思います。</p>
三宅リーダー	<p>まず、この資料を受けて、葛谷委員から加筆して頂いたものがあります。</p>
葛谷委員	<p>お仕着せの分け方の範囲内で考えようと付け加えました。 まだ他にもありますが、ひとまずは、このように考えました。</p>
三宅リーダー	<p>前回の意見を改めて整理してみると「水環境」の話が少なかったのかなという気がしますが、葛谷委員の意見の中で補強して頂いております。 前回、仁平さんと大野さんからは、大きな枠組みの話があったかと思いますが、ここの整理には収まらなくて、別の機会にやろうという判断です。 それでは、14の環境項目がありますが、意見の多かった「大気環境」から議論をしたいと思います。 自分の意見のニュアンスと違うところ、あるいは訂正等も含めてお願いします。</p>
斉藤委員	<p>例えば、「水環境」であればメダカが棲めるような川、というような表現があります。そういう表現が正しいか分かりませんが、「大気環境」についてもそのような表現があるのですか。あれば教えて頂きたいと思います。 （大気のような）見えないものに対して、ずばり捉えられるようなものがあるのですか。</p>
葛谷委員	<p>そういうものは無いのかなと思います。数値では何ピコグラム以下というのがあります。</p>
斉藤委員	<p>環境基準というのがありますよね。その基準よりも良くしようということですよ。</p>
葛谷委員	<p>短期的に見た場合に、そのような目安になるものは無いですよ。人間が実験動物になっているようなところがあると思います。</p>

仁平委員	<p>大気の難しさというのは、宇都宮で出した大気がここだけにとどまっているわけではないということです。</p> <p>例えば、夏に光化学オキシダントが起きるのは、東京や千葉の工業地帯からのNOxの塊が風で押し寄せてくることにより、濃度が高まるわけです。</p> <p>また、政府の環境目標の中に国際協力という言葉がありますが、中国の沿岸地域の石炭や火力によるものが、風で日本に押し寄せてきて、日本が汚染の影響を受けているという構造もあります。</p>
葛谷委員	<p>個人差もかなりありますので、大気汚染によって喘息にかかる人もいれば、そうでない人もいます。</p>
事務局	<p>本市の場合は、市内に大気環境の測定局を8ヶ所設けており、環境基準を満たしているかどうかを判断しているところです。</p> <p>浮遊粒子状物質などは、全国的な傾向でもありますが、基準を達成していない状況にあります。</p>
斉藤委員	<p>今のお話で分かったこともありますが、中国の話まで出てきますと、大気環境をどうするのかとなると、話が難しくなってくるような感じがします。</p>
仁平委員	<p>ですから、まずは、やはり自分の地域から出る汚染物質を、できるだけ減らしていくことではないかと思います。</p> <p>例えば、中国から影響を受けている福岡県や北九州市などでは、国際協力をして、できるだけ少なくしようということで、中国に行って技術協力をしながら発生源を抑えてもらうなど、向こうの方が切実な問題になるでしょうね。</p> <p>宇都宮は、まだそこまではいかないとは思いますが。</p>
斉藤委員	<p>現実に、宇都宮市からはどれくらい汚染物質を出しているのか、把握できていますか。</p>
事務局	<p>厳密なところは難しいとは思いますが。</p> <p>先程言いましたとおり、市内の8カ所に大気環境の測定局を設けており、その測定データによって、環境基準をクリアしているかを調べています。</p> <p>例えば、浮遊粒子状物質については、発生要因がディーゼル・エンジンによるものなのか、他の理由によるものなのか、難しいところがあります。</p> <p>測定局によっては、環境基準をオーバーする場合があります。昨年度は、春から夏にそういった傾向があり、他の時期ではないということで、年1～2回程度見られています。</p> <p>それと、先程の空気が移動するというお話もそのとおりで、光化学スモッグ注意報も、小山や足利などの南部で発令されますと、間もなく宇都宮の方にやっ</p>

	<p>てくるという状況ですので、総合的・計画的に対策を強化していかないと難しいところではあります。</p>
三宅リーダー	<p>前回の現状と課題で中心部などで排気ガスが充満しているという意見がありましたが、このような傾向は宇都宮市でもみられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>自動車排ガスの測定については、これまで大通りに測定局を設けており、今のところデータの的には問題はありません。</p> <p>但し、今の本市の状況で、大通りが測定する地点としてふさわしいか、ということもあります。特に外環状線の状況もありますので、測定地点を増やすことも含めて現在検討中です。</p> <p>栃木県でも、県内の測定地点の見直しをするという動きがあります。</p>
葛谷委員	<p>何年か前に自主的に市内 60 カ所くらいでNO₂（二酸化窒素）の測定を 24 時間行いました。その頃は外環状線は完成していませんでしたが、渋滞のひどい交差点付近ではクルマが発進する時に数値が上がりました。</p>
三宅リーダー	<p>それほどポリティカルな問題はなさそうですね、”維持すること”が重要だということだと思います。</p> <p>次に水環境はどうでしょうか。葛谷委員が追加されたものも見ながら、ご意見があればと思います。</p> <p>私は宇都宮に来てから長いのですが、東京育ちなものですから、宇都宮の水はおいしいなという印象があります。</p>
仁平委員	<p>宇都宮の水の多くは、今市市側の大谷川の取水がメインですか。</p>
葛谷委員	<p>量的には、大谷川からは比較的少ないです。</p>
事務局	<p>主に上河内町の清水川と鬼怒川が合流するところから取水しています。清水川は冬場は水量が相当減りますので、そこだけでは間に合いません。</p> <p>あとは、白沢の水源では、地下水の汲み上げということもあります。</p>
葛谷委員	<p>この前の資料で、宇都宮の水源としての地下水が40数パーセントあると書かれていて、少しびっくりしました。</p> <p>ただ、市内でも自分の水がどこから来ているのか、なかなか分かりません。水道局の方に聞いても、なかなかはっきりとは教えて下さらなくて、バルブで切り替えることもあるというお話でした。</p>

森本副リーダー	<p>以前は、宇都宮の水はおいしかったんですけども、今年の4月から全国的に厚生労働省から水の基準値に関して、塩素は2ppmという基準をクリアしなければならないとなっています。塩素は米国からきて、簡易で安価ですが、有害でもあるということで、松田新田あたりは奇形が多いということも出ています。おいしいからといって、安心はできないと思います。</p>
事務局	<p>水道局では市民から水道モニターを募集して、水道事業に関して色々な意見を頂いています。その中の意見でも、おいしいという評価がある水ですが、飲み水ですから、安全性に十分配慮してやって欲しいという要望が強いという結果もあります。</p> <p>市の方でもそうした市民の意見を踏まえて、安全性の確保ということを重視して今はやっているということ聞いております。</p>
森本副リーダー	<p>宇都宮の場合は、浄水場は屋外に設置されていると思うんですが、割とオープンで、誰かが何かを混入したら終わりという形態でちょっと不安です。</p> <p>内部的なところから漏れてきたんですけども、今市の浄水場に油が混入したそうなんです。それを、油の臭いがするなどと一部の市民が気がついて議員さんを通じて調べたところ、そういう事実があったということが分かったそうです。それは伏せられたということなんですけれども、変な人が増えていますから、どんな風になるか分からないということで、そういったことも考慮にいれた対策をしていかないといけないと思います。</p>
仁平委員	<p>上水道以外の水環境としての課題には何があるんでしょうか。</p> <p>宇都宮の川というのは、ほとんど水源をもっていないくて、ほとんど中流域ですよ。田川や鬼怒川など水質的にもきれいすぎる程ではなくて、ある程度の汚濁っていうんですか、栄養分をもったところでしょうから。</p>
森本副リーダー	<p>下水に関しては、最近まで本当に川に垂れ流しでしたから、合成洗剤や家庭の雑排水はもちろんですし、家畜の糞尿も流されている状況がありました。</p> <p>以前、鬼怒川からはクリプトスポリジウムの検出がありまして、それは人体に入ると死に至る寄生虫の一種らしいんですが、そういうことも含めて、ある意味では、川はあてにならないと考えた方がよいのではないかと思います。</p>
仁平委員	<p>上水道として、我々の飲み水という意味での世界と別に、川が流れているという環境をここでどういうふうに捉えていくか、ということです。</p> <p>飲み水としての安全性は確かに大切なことなんですけれども、川を現実の環境としてどう考えるか、ということです。</p>

葛谷委員	<p>それは、後の水資源というところで量とか水源，安全性ということが書かれていると思います。それを分けた方がいいのか，一緒にした方がよいのかは分からないのですが，ここの環境項目である「水環境」というのは，どちらかというと，自然としての水環境という切り口なのかなと思います。</p> <p>浄水場で毒物が混入されるなどを考え出したら，きりがありません。</p> <p>その上流の川から取っているわけですから，その川に誰かが何かを投げ込んだら，当然大変なことになるわけですから。</p>
事務局	<p>水環境の問題というのは，ひとつは河川水の水質です。</p> <p>本市では，市内の主要河川において定期的に取り水をして水質調査をしています。これについても，環境基準が決まっており，概ね問題がない状況です。</p> <p>但し，一部大腸菌群数というのがありますが，この基準が場所によっては若干クリアされていないところもあります。</p> <p>これは，やはり川は上流からきますので，宇都宮市の下水道が整備されても，なかなか難しい部分があるのかな，という部分もあります。</p> <p>また，河川の担当セクションでは，宇都宮の川づくりということで，今年度から河川整備の計画づくりに取り組んでいる状況もありますので，それがある程度きちんとできれば，動植物なども含めた水辺環境も保全がなされていくだろうと思います。</p> <p>これからは河川法などの改正がありまして，そういった水辺環境にも配慮した整備を行っていきなさい，ということになりますから，市も取り組んでいくという状況です。</p>
江川委員	<p>今のお話ですと，よく河川工事をすると，コンクリートブロックで全部固めて直線的なものをつくることがありましたが，だんだん少なくなって，多少は蛇行させたりとか，そんなような取り組みをするということですか。</p>
事務局	<p>全部が全部ということではありませんが，それぞれの場所で地域の特性を活かした整備をしていくことになると思います。コンクリート三面貼りというのは必ずしも良くないということは，基本的に認識しています。</p>
仁平委員	<p>そうですね。田川とか鬼怒川を別にすれば，住宅地の中を流れる小河川などは，ほとんど三面貼りのところが多いですね。</p> <p>雨水を中心に流れている生活環境の中の小河川も，三面貼りで直線で流れるのではなくて，ある程度段差をつけたり，改善まですることを望むかどうかですね。</p>

葛谷委員	<p>偏見かもしれませんが、宇都宮市の河川課というのは下水道部の中にあるんです。行政の方は、川というものを下水道として、言葉を変えれば排水路としてしか見ていないのではないかな、という気がします。</p>
事務局	<p>そういうことではありませんが、行政の組織の体系は、その時その時で色々あります。以前は土木河川課という名称で、建設部に入っていた時もあります。その時の色々な状況の中で組織は動いていきますので、必ずしもそういうことではないと思います。</p>
葛谷委員	<p>先ほど、環境基準を達成しているというお話がありましたが、環境基準というのは目標が5種類くらいありますよね。でも、最初の目標の設定が、例えば鬼怒川の上流部と中流部とでは、そもそも目標が違うんですね。非常に低いレベルに目標があって、それをクリアすればそれで良いということにもなります。目標を高く掲げれば、当然クリアが難しくなるわけです。元々の目標がどの程度なのかということも、目標達成率何%ということでは、見えてこないことがあります。</p>
事務局	<p>環境課で情報として出しているのですが、河川ごとの、ポイントごとの測定したデータは毎年公表しています。</p> <p>中小河川の整備については、河川課で対応していますが、これまでは、大雨などであちこちで溢水が起きていたわけです。ですから、溢水の解消、治水ということを優先して対応してきました。これらについては早く対処しなくては行けませんので、3面貼り方式を採用するなど、治水優先で整備をしてきたところがありました。</p> <p>しかしながら、もうそういう時代ではないだろうということで、先程も出しましたが、自然環境に配慮した工法等も採用した地特性を生かした川づくりをしていこうというような計画づくりに取り組んでいます。</p>
仁平委員	<p>逆に言うと、それに市の方の対象を絞った方がやり易いのかもかもしれませんね。例えば田川とか鬼怒川は県の行政の方になってしまうから、市の行政で出来ることというのが市の方としてはふさわしいんでしょうから。</p>
江川委員	<p>田圃の排水路がU字溝になっていて、あれは生物の住む環境ではないなというか、それが工事の上では簡単だとは思いますが、徐々に変えていくというのはどうなんでしょうか。</p>
事務局	<p>水田の用水路については、多くが土地改良事業で行うものです。それは農家の皆さんがこういう形だと賛同を得て実施するものですから、これも昔のように土でやれば宜しいんですが、実際はコンクリートが多くなっています。</p>

江川委員	河内町では、実験的に土壌水路などを造っていますが、こういう形で進められればと思います。
事務局	これからやるところは、やはり環境が大事にされてきている時代ですから、当然そういう配慮を事業実施にあたって、あらゆるセクションで行っていくという方向でいくとは思いますが、今までは、必ずしもそうとは言い切れなかったという部分は確かにあります。
仁平委員	市の及ぶ中小河川を対象にして、流れ込みを抑えると同時に、今おっしゃられたように、魚が棲めるような、あるいはホタルの幼虫が潜り込める土手があるような形で、できるだけ自然河川に近い方向に持っていくとことが、ここで、考えるとすれば、3面貼りを改善していく課題なのかもしれません。
三宅リーダー	<p>仁平さんの発言は、自分達で出来ることを明確に出していこうという意見の一つだと思います。</p> <p>今日の2番目のテーマは、環境目標に言葉を合わせていこうというのがありますが、一つひとつ検討するには多分時間がないと思います。</p> <p>色々な意見がありますが、とにかく大事にしたいという要望を聴きながら、目標を言葉で言うところこういうふうになるね、という共通認識に入りたいと思います。</p> <p>次の「その他生活環境」ということで、幅広い意見が出ていますね。</p>
森本副リーダー	化学物質が蔓延しすぎていて、そういう生活に慣れすぎてしまっていて、なんとかしたいんですけども、減らしていく努力ということで、何か市として打ち出せるのではないかとということで議論したいと思います。
三宅リーダー	森本さんの意見で”望ましい状態”として、「買わない、売らない、」と言った厳しい意見がありました。
森本副リーダー	水環境でホタルやメダカを取り戻していきたいというのは、万人の願いということがありますが、中小河川をそぞろ歩いて気持ちの良い環境づくりなどについて要望があるのであれば、その根本にある川の水質を改善していくことです。そのために汚染原因が分かっている工場排水の他に、家庭雑排水が手つかずの状態ですので、それをどうしていったらよいかということです。

葛谷委員	<p>大気にしても、土壌にしても、汚染物質は最後は水に出ていくわけですね。水環境といえば最終的なところをチェックするというような気がします。その他生活環境の項目の内容を見ると、生活の全ての面で汚染物質を出さないようにする、ということしかないように思います。</p> <p>なぜ出してはいけないんだ、ということを理解できないと注意しませんので、環境教育とも結びついてきますし、あらゆることに関連してくると思います。安全が立証されたもの以外は、買わない、買えない、売らないまち、となると、ちょっと難しいとは思いますが。自分の生活が便利になるために100のものを欲しいとして、全ての人が1割づつ減らして90%に抑えていくとか、そういうことでも全体としてかなり違ってくると思います。</p> <p>昔に戻るといってかなり抵抗があるように感じますが、頭の切り替えというのが必要だと思えます。</p>
眞野委員	<p>認識されている方とそうでない方と行動の仕方に大きな隔たりがあって、罪悪感も何もなく害悪を垂れ流している方が大勢いると思います。</p> <p>そういう方にまず認識を持ってもらうにはどうしたらよいかということになりますが、この前、大野さんが、自治会を利用して、指導されている方を市の方で集めて、勉強会を開いて自治会を通して主婦の人たちに指導していく。</p> <p>私の自治会は、50所帯で5班あります。班長さんでまとまって環境教育をしていった方が細かなところまで、認識が浸透していくのではないかと思います。</p>
大野委員	<p>いまお話ができました自治会の活用については私がつくづく思っておりまして、眞野さんのお話にありましたように、関心をもってない方というのは、環境問題はない、という感じで考えていらっしゃる方が多いです。</p> <p>色々な面で環境施策に取り組むとしても、実際の効果を発揮させるためには、一人ひとりが行動しないとダメです。</p> <p>森本さんの意見で、安全性が実証されるというのがありましたが、なかなか難しいところもあります。私なりに解釈して、「疑わしきものは、買わない、使わない」というふうにすれば、環境教育をすることによって、それが大きな流れになるのではないかと思います。</p> <p>スーパーに行くと、最近では、減農薬とか、無農薬で栽培した野菜というのが増えてきてまして、結構売れているんですね。こうしたものだったら多少高くても買いますけれども、そういうことが増えることによって、農薬の使用が減ってくるのではないかと考えます。こうしていくと、事業者の方も配慮すると思えますし、施策の効果も出てくると思えます。</p>

平野委員	<p>自治会には宇都宮市民は50～60%しか入っていないと思います。県内の市町村では80～90%だと思います。私も今まで宇都宮で2カ所に住んできましたが、今の地区には自治会がありません。</p> <p>自治会があるところは、意識が高いのですが、マンションなど自治会が無いところでは意識も低いと思います。環境に対する意識が低い方は、自治会に入っていない場合が多いという気がしているものですから、例えばごみの出し方にしても、マンションの住人の方が雑なのかなと感じます。</p> <p>広報うつのみやを新聞の折り込みに入れるのは、自治会だと配布率が低くなるからという話も以前聞いたこともありますので、自治会はもちろん大切ですが、それだけに頼るということではなくて、考えていかなければと思います。</p>
大野委員	<p>自治会の加入率がそんなに低いとは知らなかったんですが、逆に言えば半分は自治会に入っているということで、とっかかりにはなると思います。</p>
眞野委員	<p>例えば、買い物を1回すると、パックが1袋ごとに出ますが、これは見ただけで環境破壊をしているということが実感できます。</p> <p>ヨーロッパですと、昔の日本のように積んで売っているんですね。</p> <p>この間オクラを買ったんですが、何層にもくるまっけていてオクラが新鮮かどうか判断できないような状態です。</p> <p>そういうものも買わないようにしていけば、事業者の方もなぜ売れ残ったんだと考えるとと思います。過剰包装を減らした流通ができないものかなと思います。</p>
大野委員	<p>野菜の場合は、こちらから袋を持っていってもいいんでしょうけれども、例えばカセットテープの場合ですと、袋をいらないといってむき出しで持っていくことになるので、盗ってきたと間違えられるといけませんので、本当は過剰なものはいらないと思っても、袋に入れてもらってしまいます。シールを貼ってもらって、それを表に出しながら店を出るといったものもありますけれども。</p>
葛谷委員	<p>慣れてしまえば、習慣になると思います。</p>
森本委員	<p>いま、化学物質をなくしていく施策とか方法はないものだろうかというお話をお聞きしたかったですけれども、行政の方のお考えはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>環境課では、ダイオキシンや環境ホルモンについて、市内の河川や土壌の調査をしています。清掃工場の方でも独自に行っています。</p> <p>ダイオキシンや環境ホルモンについても、環境基準や国の平均レベルは下回っているということで当面、特に早急に対策を、というのは今のところないのかなという状況です。</p>

事務局	<p>森本さんは、世界的な、また 100 年、200 年先を見越しておっしゃっていると思います。国の方でも重要な課題に挙げられていますが、まだ化学物質に関する科学的な知見やデータが不十分であるとしています。学識者の中にも、それが特定の原因だと主張されている方もいますが、それに対してすべての人が同意しているのか、というところもあります。</p> <p>国の方では、科学的な知見やデータを集積して対応をしていくという段階を踏んでおり、その中で 1 地方自治体が何らかの基準を設けてというのは、実際は非常に難しいと考えています。</p>
葛谷委員	<p>宇都宮市だけ突出した基準をつくるということだけでなく、例えば、水道法でも監視項目というのがあります。いまは灰色で黒と決まっていなくても、将来にその可能性があるというものを、調査項目の中に入れていくというのは本市でも可能ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>基準はありませんが、本市でもかなりの数の項目について調査は実施しており、全国の実態調査結果のレベルよりも低くなっております。</p>
森本副リーダー	<p>それでも私は安心してほしくないと思います。基準値を設けるとか、そういうことで対策をしていってほしいです。</p>
事務局	<p>その辺りが、今の状況の中では、なかなか市独自で何を根拠にということになるわけです。ですから、全国の平均値というのがひとつの目安にはなるのかなということとで現在は判断しています。</p> <p>国で基準値が設定されれば、当然それがクリアされているのか、されていないのかということになります。</p>
森本委員	<p>私はなぜこれを特別にいうかと言いますと、宇都宮市はいじめや登校拒否、学生検挙率、覚醒剤検挙率が日本一ですよね。こういう汚名に、子ども達に対してなんら対策をとれていません。</p> <p>私は環境ホルモンということで、色々なデータを考慮した上で、宇都宮市はなぜこんなにひどくなっているかと考えた時に、これが大きな要因のひとつだと思っています。今まで考えられなかった精神障害とかも出てきています。これを近隣市民全体で考えていけたら、あるいは子ども達を救えるかもしれません。</p> <p>色々な問題が非常に大きいのしかかっているという事実があるわけです。それで基準値をクリアということで安心できないんじゃないかなと言っているわけです。</p>

事務局	<p>安心だと言っているわけではありません。</p> <p>科学的な根拠というものが示されないものを，1自治体がどうこうというのは今のところは非常に難しいというお話を申し上げているんです。</p> <p>少なくとも環境ホルモンについて，これは有害ではないかということで調査をしているわけですが，それで良いと言っているわけではありません。</p> <p>行政というのは，かなり強制力を持つわけですから，事業者をはじめ様々なところに影響がでてくる話です。そうした場合に客観的になぜという部分をきちっと示すことができないと，行政が恣意的にやったということになり，色々な問題が起きてしまいます。</p> <p>これは当然宇都宮市だけの問題ではないわけです。森本さんの立場だと生ぬるいんじゃないかということだと思いますが，先程も申し上げたように，国の総合的な見解が示されないと，市独自で動くというのは難しいという立場にもあります。</p>
大野委員	<p>ダイオキシンに関していえば，上三川町と市民が一体となってクロマツ測定法で調査をしています。ダイオキシンは，青酸カリの1,000倍，サリンの数倍の毒性があるといわれており，測定が難しいということがあります。クリーンパーク茂原を自治会で見学したときに，ダイオキシンの測定はデータ分析に3～4カ月かかり，しかもそのときの測定というのは瞬間の値で，風の流れとか天候によっても左右されてしまいます。</p> <p>このため，上三川町ではクロマツに蓄積されたダイオキシンを測ったということです。そういう点から見ますと，基準値は難しいかもしれませんが，民が主体となってクロマツ測定法をやり，官の方が補助，援助するという形でやっていったらもっと市民も安心するのではないかと思います。</p>
事務局	<p>環境学習の一環として，そのような取り組みをされたいという話があれば，検討はできると思いますが，補助とかの話になりますと，予算も関係してきます。出来る，出来ないの話はこの場ではお答えできませんけれども，環境に関する意識の向上は重要なことだと考えています。そういう意味でやるということであれば，なんらかの支援の検討は十分できると思います。</p>
事務局	<p>これまでのお話ですと，環境項目でいうと，大気環境であれば排ガスとか，水環境であれば河川とか，その他生活環境であれば有害化学物質と，そういったものがワーキングではポイントになっているのかなとすることができるのかな，という進み方だと思います。</p> <p>また，これまでの話にありました，調査のデータにつきましては，以前お配りした「うつのみやの環境」を参照して頂ければと思います。</p>

眞野委員	<p>その他生活環境のなかで一番下になっていますが、都市環境の美化、生活環境の改善、ポイ捨てによる美観の損失。確かにそうだと思うんですけども、損失だけではなくて、もっと創出をしていかなければならないと思います。</p> <p>汚い場所だと、平気で空き缶などのポイ捨てができてしまいますが、きれいな場所にはなかなかごみは棄てられないと思います。</p> <p>ですから、宇都宮市がもっときれいなまちであれば、色々なポイ捨てもなくなっていくと思います。</p> <p>以前頂いた資料の中で、『まちの景観づくりを行うため、小規模な空間を立体的に活用するなど、多様な草花や樹木の植栽により、緑化を推進し、快適な魅力的な緑の回廊軸を形成することが必要です。住宅地についてはやすらぎのある良好な住環境を形成するために、生け垣、庭木、草花の植栽や窓辺の緑など緑化を推進し、庭の緑とまちの形成を連携させる必要があります。工業地については、周辺環境との調和を図るために、緩衝や景観に配慮した緑化を推進する必要があります』となっておりますが、これが、まさに私が一番希望しているところなんです。</p> <p>水も命に関わる大事な問題ですし、化学物質もなんとかしなくてはいけない問題ですけども、そこにプラス自分が美しいまちに住んでいるということに対して誇りを持てれば、他の問題にしても意識が高まっていくのではないかと思います。いまの宇都宮市の都市緑化に対する考え方を少し伺いたいと思うんです。前回も言いましたが、平成通りにつながっている道路で、途中まではカツラの木が植樹されているのですが、あるところへくると、わざわざ埋めてあった木を取り除いて石を立てています。それがどうしてなのかと思っていました。</p>
事務局	<p>道路にも県道、市道があります。全線を一度に整備するというのは費用の関係でなかなか出来ません。一定区間については、統一された考え方で発注して、ところが次の区間になりますと発注の年度が違うということがあります。</p>
眞野委員	<p>仙台でしたら杜の都と言われていますけれども、そのようなキャッチフレーズが出てくるようなまちにしたいと思います。せっかく県で世界遺産の日光を持ちながら、その中でもっとも大きい宇都宮市がなんのキャッチフレーズもないようでは情けないのではないかと思います。</p>
三宅リーダー	<p>今日は、そういうことをここで提言していこうということで、眞野さんの一連のご発言は、きれいなまちや緑を保全するだけでなく創出しようじゃないか、ということのを大事にしてキーワードにしてほしいという提言と受け止めたいと思います。</p>

三宅リーダー	<p>資料の最後のページを見て頂きたいのですが、環境目標の設定において、一番何を大事にしたいかのキーワードを今日の議論のなかで拾いながら、言葉としては後で事務局に整理をしてもらおうと思います。</p> <p>大事なキーワードをアピールするということに重点をシフトしていきたいと思っています。その環境目標ができれば、それを束ねて基本目標などができるというの試みであります。</p> <p>次に、非常に意見の多い廃棄物ですが、私はこの項目は市民みんなが参加できる活動だと思います。キーワードとしては、「市民が参加する」という意見です。廃棄物を減らすということにほとんど異論はないでしょうから。</p>
森本副リーダー	<p>この間、児玉さんの方から、リサイクルというお話があったんですけども、リサイクルは無駄だというような話もあります。</p> <p>今、環境というリサイクルという流れがありますが、ごみを減らしていくという観点からいえば、リサイクルというのは相応しくないのではないかな、と思っています。</p>
三宅リーダー	<p>基本的にはそうだと思います。</p>
森本副リーダー	<p>リサイクルの再生費用がすごくかさむということなんです。</p>
斉藤委員	<p>そういう面もありますが、一概には言い切れないこともあると思います。</p> <p>リサイクルするためのエネルギーと、新たに作り出すためのそれと小さい方がいいということもあります。</p>
三宅リーダー	<p>リユースというのはだんだん市民に浸透してきていますよね。</p> <p>まず使わない、量を減らす、2回使う、どうしようもないやつをリサイクルする。リサイクルにもいろいろな幅があります。</p>
森本副リーダー	<p>缶コーヒー1本で30円かかります。こういう無駄は、20年前ヨーロッパでは止めた経緯があります。日本でも全国的にはリサイクルが行き詰まってきて、今度は、無くしていかなければならないと思います。</p> <p>宇都宮はリサイクルを推進するまち、と唱ってしまうと何をいつているの、と全国的なレベルでは言われてしまいそうな気がします。</p>
仁平委員	<p>でも、物にもよるのではないのでしょうか。アルミ缶などはそうですが、例えば生ごみはどうかというと、堆肥なり分解してリサイクルしないといけませんから、それは物によると思います。</p>

江川委員	リサイクルは悪いわけではないですから、しないよりはした方がいいとは思いますが。
森本副リーダー	学校でも子ども達にそういう指導をしていますね。
大野委員	リサイクルというといかにも環境対策をしていると聞こえがちなんですけど、リサイクルする前にすることがあるんですよ、ということだと思います。リサイクルよりも、リユース、リフューズが上位にくるわけで環境負荷が少ない順というのはそういうことになると思います。缶ジュースではなくて、瓶ジュース、それを飲んだら必ず返して、何度も繰り返すというようなことを全面に打ち出したらいいのではないかと、ということだと思います。
三宅リーダー	4 Rの中の優先順位というを明確にした上で、教育していくべきですよ。
森本副リーダー	眞野さんがおっしゃった過剰包装とか使い捨ての意識ですね。
三宅リーダー	杉並区のごみ袋税が話題になっていました。
大野委員	それぐらいしないと実際はやらない、ということもあります。
森本副リーダー	お店の方が過剰包装だったということを気がついていくようなシステムであればいいと思います。ごみの埋立地だって困りますし、地域への影響も出てきてしまいます。
大野委員	東京都のあるところでは、ごみを有料化してごみの量が減ったそうです。
三宅リーダー	廃棄物については総量を減らしていこうという減量化というのを大事にしたいと思っています。次に資源・エネルギー、水資源についてですが、中水道の利用は長期的な観点からは、利用が難しいんでしょうか。
葛谷委員	大きな建物などを今後造るのでしたら、是非やった方がいいと思います。個人の住宅には、助成金を出すとか、そういう工夫があるといいと思います。
平野委員	個人でやると、中水道の設備で500万円位かかるという話もあります。

葛谷委員	<p>建物の敷地の全部を掘って整備するというのではなくて、雨水桶とか簡単なものだったら、僅かな金額でできると思います。</p> <p>そういう工夫をすると環境にもいいですし、経済的にもメリットがある、ということを理解してもらおうと進むと思います。</p>
大野委員	<p>東京都の方に雨水博物館というのがありまして、個人の家庭でできる装置が展示してあるそうです。</p>
葛谷委員	<p>雨水を溜めておいて、水面から 10cm か 15cm くらいの所から取ると、いい水が取れることを勉強会で知りました。非常に大切な資源だと思います。</p>
三宅リーダー	<p>長期的に考えた時に、水道管だけではなくて、雨水などで利用してそれぞれの水を使うと言う切り口は大事だと思います。</p>
葛谷委員	<p>洗濯をする時に雨水を使うと、汚れをとる際に洗剤が少なく済むそうです。それは実験で調べた結果だそうです。</p>
大野委員	<p>国技館で、雨水利用の設備を入れたそうですが、かつては大雨が降ったときに付近が洪水になったらしいんですけれども、それがなくなったということです。</p>
葛谷委員	<p>墨田区ではむしろ、雨が降ったときに一度に川に出さないために、ということもあったようです。鹿沼市民情報センターのトイレは雨水だそうです。</p>
大野委員	<p>個人でもそういうことをすると、川が氾濫するということがなくなりますし、中小河川でも 3 面張りにしなくても済むようになるかもしれません。</p>
平野委員	<p>節水も入れて頂ければと思います。</p>
葛谷委員	<p>節水の目標は個人でも出来ますし、行政なんかでもわかりやすいと思います。</p>
三宅リーダー	<p>みんなでやることの効果はありますね。地球環境問題はどうか。</p>
森本副リーダー	<p>まちの中を走るクルマを減らすという動きが各地でありますので、宇都宮市でもそれを推進していくべきだと思います。ワンコインバスなどは有効だと思いますし、中心部が今ズタズタの状態、市民としても悲しいですね。</p> <p>活性化していくために、環境の方から提言していけたらいいと常に思っています。むしろクルマを通さない、まちをパークシティ化するという構想を思い切ってされたらどうか。人が歩いて文化を高めるための中心部、というようなことを提言して、歩く中心のまち、というようなことを考えて、周辺を移動でき</p>

森本副リーダー	<p>るような、みんなが利用しやすいシステムづくりをしてみたらどうかと思っています。LRT等も検討していますが、むしろ中心部に電車を通して、まずそれを試みとしてやりたいな、やってほしいなと思います。</p> <p>周辺はクルマに頼らざるを得ないような状況になっていますが、中心部はお年寄りや子ども来やすいまちにする。先程の化学物資にしても、早急にやれということではなくて、段階を踏みながらそのような構想をつくっていきこうという提案を入れていきたいと思います。</p>
三宅リーダー	<p>実現がなかなか難しいですね。パーク＆ライドが昔から叫ばれていますが、やはりインフラがないと整備できないということもあります。</p>
仁平委員	<p>地球温暖化戦略などで、今まで産業部門だけにしわ寄せがされていたCO2の排出でしたが、運輸・生活部門の削減のウェイトが多く出てくるでしょうから、特にクルマは大きく、それだけやっても達成できなければ、途上国の余裕のある排出権をお金を払って買うということで計算を合わせなければなりません。CO2の排出を減らすという試みはどこかでしておかなくてはならないと思います。</p> <p>いまおっしゃられたように、いずれ都市部局の活性化と結びつくという話や何がいいかという選択は、その時の政策・財政的な面で決まるとは思いますけれども、とりあえず環境部としてはCO2の排出が責任分野でしょうから、都市部局、交通部局とも連携しながら、クルマの制御というシステムをどうつくっていくのか、どこかで出てくると思います。</p>
大野委員	<p>クルマを減らすことは強力に推進していく必要があるでしょう。</p> <p>パーク＆ライドは難しいと思いますが、実際に外国でやっているところはありますし、段階的にやっていけたらということはありません。</p>
事務局	<p>地球環境問題は非常に大きいテーマです。ですから、色々な方向からやっていくということがあります。宇都宮の場合は、平成7～12年までの5年間で乗用車の台数が倍になっているような状況ですから、クルマの利用を減らしていくというのは現実的ではないのでは、ということもあります。</p> <p>市では、明日正式には決定しますが、地球温暖化問題をにらんで「宇都宮市地域新エネルギービジョン」を策定しました。その中で、クルマに関してはクリーンエネルギー自動車の導入を促進したり、その他の自然エネルギーなど、新エネルギーといわれるものに積極的に取り組んでいきますということで、向こう10年間の計画ですが、それで市がやる部分というのはCO2の排出の全体からいきますと、わずか1.数%、市民、事業者の方々がみんなが出しているということなんですね。</p> <p>新エネルギーを普及を市の方でどういう形でやっていくか、そういうものを早</p>

<p>三宅リーダー</p>	<p>急に検討していくということになっています。</p> <p>先程出ましたCO2の6%削減について、宇都宮バージョンで計算すると、市や市民、事業者が新エネルギーを色々な形で利用した場合、削減量相当分の23%が新エネルギーでなんとか賄えるという計算になっています。</p> <p>エネルギー抑制型の新しい技術が開発されつつありますので、そうした機器を利用したり、省エネにも併行して取り組みながら対策を進めていきたいと思っています。</p>
<p>仁平委員</p>	<p>省エネという切り口が抜けていましたが、なるべく計画には市民が参加できるような切り口がほしいですね。</p> <p>でもやはり保有率第2位の宇都宮としては、クルマのことに触れないわけにはいかないんじゃないでしょうか。</p> <p>ハイブリッド車も通常のクルマを買うより高いですよ。私も買換えの時に考えましたが、ちょっと手が出ないと思いました。</p> <p>行政の方ほうで乗り捨てるの自転車などを用意するなど、いくつかの組み合わせのなかで、気づきの世界というのをどっかで考えていく必要があるんじゃないでしょうか。</p>
<p>事業者</p>	<p>現在は、あらゆる施策を考える時に、環境のとなしでは出来なくなってきています。昨年にはISO14001も認証取得しましたし、全庁的にも浸透してきています。</p> <p>交通部局でも、貸し自転車制度を新年度にやってみようということで、動いておりますから、皆さんの意見にも近いものが、準備されつつあるのかなと思います。規模がどの程度かということもありますが、段階的に効果等を見ながらということになっていくと思います。</p>
<p>三宅リーダー</p>	<p>時間が少なくなってきましたので、他の項目で特にこの言葉をキーワードとして入れて欲しいというのが強くあれば、アピールして頂きたいと思います。</p> <p>環境教育なども意見が多いですね。</p>
<p>大野委員</p>	<p>色々な施策をとっても、やはり歌い文句である市民、事業者、行政が一体となってやらないと実らないと思います。そういう点では、環境教育というのは非常に重要なことだと思いますので、あらゆる手段を講じて継続的に、組織的にやるべきだろうと思っています。</p>
<p>森本委員</p>	<p>環境教育は、かなり重要な項目だと思います。</p>

仁平委員	小中学校のなかで単元のようなものはあるのでしょうか。
江川委員	<p>だんだん入ってきています。国語や社会，理科などでも環境問題を多少教える部分はあります。「総合的な学習」が始まり，私が考える上では，環境問題というのは場所を選ばない比較的に取りつきやすいものだと思いますが，数年前までは，先生の間で，「環境教育」と「教育環境」の区別がつかないというような状態でしたから，なかなか難しいところもあります。</p> <p>そういう面で，どういうふうに教えていったら効果的かあるのか分からないといった現状もあります。</p> <p>また，環境以上に教育界では難しい問題も抱えていますので，そちらに時間をとられてしまい，環境教育に興味がないと，呼びかけても土・日に参加される先生は，残念ながら殆どいないという状況です。</p>
仁平委員	廃棄物やエネルギーに関する単元というのはどこかにあるのでしょうか。
江川委員	廃棄物は公害のところで行います。5年生の社会で水俣病のあたりです。
事務局	小学校4年生には，社会科の時間を利用して，市の方で廃棄物に関する補助教材を作成して，配布しています。
江川委員	<p>社会科見学で，今はクリーンパーク茂原に行き，ごみ問題を勉強します。</p> <p>しかし，文部科学省から出てきたものにとって指導していかなければなりませんので，宇都宮市独自に枠を設けてこれだけはやりなさい，ということでしょうけれども，教育委員会に対しては通常は難しいと思います。</p> <p>一番可能性があるのは，「総合的な学習」の時間に，是非進めなさいという方針をとるかだと思います。「総合的な学習」というのは学校独自に任せるとするのが趣旨ですから，本当はこれをやりなさい，というのも趣旨に反するのですが，地域の実態に併せてということもありますので，とっかかりとしてはいいと思います。</p>
仁平委員	子供会とか育成会などの単位で，というのは難しいでしょうか。
江川委員	<p>今度から週休2日制になりますから，受け皿を捜しているというのが現状です。先生方も土日は基本的にはフリーの時間になるので，自分の住んでいるところのボランティアや子供会の行事に参加しなさいとも言われ始めています。</p> <p>子ども達を地域に帰すということも出てくるのではないかと，ということもありますので，土日を利用して子供会等で環境教育を行うというような機会を利用するのが一番いいかなと思います。</p>

三宅リーダー	<p>ありがとうございました。</p> <p>幅広いので、消化しきれない部分もありますが、時間ですのでひとつ提案ですが、皆さんそれぞれいくつか強調して頂いたと思いますが、少し整理をしてみたいと思います。</p> <p>イメージとしては、最後のページのものをつくっていくことだと思いますが、これをみんなでつくるというのも労力が大きくなってしまいますので。事務方で整理して次回出して頂くということで如何でしょうか。</p> <p>どうしても、色々な意見をひとつに修練していく作業になりますので、最終的には取舍選択があるとは思いますが、それは大きいところを押さえられればいいのかと思っています。次回以降の具体的な議論に入っていくのなかで、また見えてくる部分もあると思いますので。一旦は事務局に整理をしていただきます。</p>
大野委員	<p>これ自体は関心のある項目ということで各自出しましたが、これを地球環境問題という切り口でやりますと、関心のある項目ではないけれども、重要な問題というのもまだあると思います。そういう点で、各項目についてまだ埋めたい部分がありますが、どうしたら宜しいでしょうか。</p>
事務局	<p>シートを見ますと、事業者・市民としての部分などでまだ抜けているところがありますし、事前に考える時間が少ないこともありました。</p> <p>次回は事務局側からたたき台を出したいと思いますが、今日の意見の他に追加の意見等がありましたら、来週水曜日ぐらいまでに出して頂きたいと思います。</p>
三宅リーダー	<p>そういうことで事務局に整理していただいて、次回は、また前に進めればと思います。</p> <p>だんだん、大きな骨が見えてくると、各論の論議にもなってきますので、またよろしく願いいたします。</p>